



Title	須田力教授の略歴と研究業績
Citation	北海道大学大学院教育学研究科紀要, 99, 169-179
Issue Date	2006-09-25
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/14797
Type	other
File Information	2006-99-169.pdf



須田力教授の略歴と研究業績

Professor Tsutomu Suda's Brief Personal Record and Collection of Works

1. 略歴

(1) 略歴等

- 1943年（昭和18年）1月8日 中国長春（旧新京）で生まれる
- 1958年（昭和33年）4月1日 札幌市立旭丘高等学校入学
- 1961年（昭和36年）3月31日 北海道立旭川東高等学校卒業
- 1962年（昭和37年）4月1日 北海道大学入学
- 1966年（昭和41年）3月31日 北海道大学教育学部卒業
- 1966年（昭和41年）4月1日 北海道大学教育学部研究生
- 1966年（昭和41年）8月16日 北海道大学教育学部技術補佐員
- 1967年（昭和42年）2月16日 同上退職
- 1967年（昭和42年）4月1日 北海道美幌高等学校教諭
- 1973年（昭和48年）4月1日 北海道長沼高等学校教諭
- 1975年（昭和50年）6月16日 北海道大学教育学部講師
- 1981年（昭和56年）4月1日 北海道大学教育学部助教授
- 1995年（平成7年）8月1日 北海道大学教育学部教授
- 2000年（平成12年）4月1日 北海道大学大学院教育学研究科教授
- 2006年（平成18年）3月31日 同研究科定年退職
- 2006年（平成18年）4月1日 北海道大学名誉教授

(2) 教育活動

全学教育課程では、体育学、一般教育演習を担当し、学部専門教育課程では、基礎演習、体力科学、専門演習、健康体育学実験などの講義・演習・実験を担当し、大学院教育学研究科においては、健康スポーツ科学基礎論、体力科学基礎論Bなどを担当した。専門分野は、体力科学、発育発達で、とりわけ積雪・寒冷の北海道の風土と生活の中の身体活動と体力の発達・保全を研究対象としてきた。

(3) 学内・学外での活動

全学関係では、体育指導センター運営委員会委員、全学教育企画責任者、施設環境委員会・施設計画専門委員会など、教育学研究科では、環境整備委員会、研究計画委員会委員、予算委員会委員などを担当した。

課外活動は、北海道大学ラグビー部顧問のほか過去にアメリカンフットボール部顧問、植物同好会顧問、武田流合気道部顧問も勤めた。

学外関係では、北海道体育学会事務局を25年担当、北海道体育協会スポーツ科学委員会委員、副委員長、北海道ラグビーフットボール協会大学委員会委員を担当した。

2. 研究業績

(1) 著書

1. 雪を考える会編著(1992) 雪と遊ぶ本 ― 家族で楽しむ雪中キャンプ, (分担執筆「雪の中での遊びと健康」79-82, (財)雪センター, 平成4年12月.
2. 松崎俊久監修(1993) 長寿の秘訣(分担執筆: 第4章健康を保持する体力づくり, 153-172) 財団法人北海道公立学校教職員互助会, 平成5年6月.
3. 北海道スポーツ医科学研究会編(1995) 北海道のスポーツと健康(分担執筆, 生活に根ざしたトレーニング, 74-78, 階段上がりの効用208-209), 北海道新聞出版局, 平成7年4月.
4. 秋田谷英次ほか雪を考える会著, 国土庁地方振興局編(1995) 遊雪事典(分担執筆, ウィンタースポーツ, 68-73, 冬とからだのしくみ, 96-106), 国土庁地方振興局, 平成7年2月.
5. 須田力・森谷黎・中川功哉編著(1997) 積雪寒冷地における高齢者の生活と運動. 北海道大学図書刊行会, 平成9年2月.
6. 須田力編著(1998) 北方圏住民の生活とスポーツ, 共同文化社, 平成10年9月.
7. 田口貞善, 山地啓司編著(1998) 若い時に知っておきたい運動・健康とからだの秘密(分担執筆, 第15章「現代の学生生活と健康な社会」p.248-261), 近代科学社, 平成10年10月.
8. 石井清一編(1999) 道内教職員の体格・基礎体力と日常活動量に関する調査・研究(分担執筆, 第2部道内教職員の日常活動量, p.23-43), 財団法人北海道教職員厚生会, 財団法人北海道体育協会スポーツ科学委員会, 平成12年3月.
9. 雪国の視座編集委員会編(2001) 『雪国の視座』(分担執筆, 雪国とスポーツ, p.272-277) 毎日新聞社, 平成13年7月.
10. Suda, T., Asao, H., Moriya, K. (Eds.) (2003) Physical activity, health promotion, and regional development in Northeast Eurasia: Proceedings of the International Council on Health, Physical Education and Sports in Northeast Eurasia 2002, Kyodo Bunkasha, Sapporo, September 2003.
11. 須田力編著(2006) 雪国の住民の生活と身体活動. 北海道大学出版会, 平成18年2月.

(2) 訳書

1. Schurch, P. 著, 福地保馬監訳, 川初清典・須田力共訳(1991) スポーツ能力診断 ― 理論と実際 ―, オーム社, 平成3年6月.

(3) 論文

1. 須田力・中川功哉(1984) 積雪地における児童および青少年の身体活動と体力に関する研究. 北海道体育学研究, 第19巻: 29-39.
2. 須田力・三宅章介・加藤満・佐々木敏・川初清典(1989) ショベル除雪作業における負荷とテンポが生理的応答におよぼす影響について. 北海道体育学研究, 第24巻: 19-25.
3. 須田力・三宅章介・加藤満・佐々木敏(1989) 高齢者の除雪作業と体力. 道北地域研究所

- 年報, 第7号, 41-47.
4. 須田力・川初清典・佐々木敏・角田和彦・三宅章介・晴山紫恵子 (1990) クロスカン트리ースキー初心者のダイアゴナル走法における滑走特性と生理的応答. 北海道体育学研究, 第25巻: 7-18.
 5. 須田力 (1993) ポケットコンピューターの体育学習への応用. 北海道体育学研究, 28: 59-67.
 6. 佐々木敏・須田力・武田秀勝・角田和彦・内田英二・上村浩信 (1995) クロスカン트리ースキー選手の代謝能力. 北海道体育学研究, 30: 15-24.
 7. 須田力・中川功哉・秋田谷英次・原文宏 (1995) 積雪路面の歩行・ランニングの運動強度. 北海道の雪氷, 18-23.
 8. 原文宏・秋田谷英次・須田力 (1995) 雪氷の教育への利用の現状について. 寒冷技術シンポジウム'95 論文集, 537-540.
 9. 須田力・秋田谷英次・片桐千仞・田中英治・原文宏 (1995) 雪中キャンプ時の生理的応答. 寒地技術シンポジウム'95 論文集, 19-25.
 10. 浦上大輔・須田力・中川功哉他 (1997) 積雪地の高校生・高専生の生活と身体活動——積雪期と非積雪期における生活と身体活動の比較—— 発育発達研究, 第25号, 20-28.
 11. 浦上大輔・須田力・中川功哉他 (1998) 積雪地の高校生・高専生の身体活動水準. 北海道大学教育学部紀要, 第75号: 33-44.
 12. 須田力・宮島成江・浦上大輔 (1998) 積雪地における小都市勤労者の身体活動 北海道大学教育学部紀要, 75号: 17-32.
 13. 須田力・石川高行・浅尾秀樹・三宅章介・布上恭子, Pasyukov, P. N., Shidlovskaya, T. N., Shidlovsky, G. Y. (1998) 積雪地における住民のライフスタイルと身体活動——北海道およびサハリンにおける中高年女性の身体活動水準について——. 第5回寒地技術に関する国際シンポジウム ISCORD'97 論文要旨集(和文), (財)北海道開発技術センター, 1998年6月, 185-187.
 14. Suda T., Uragami D., Nakagawa K. Differences in Intensities of Jogging between Non-snowfall and Snowfall Seasons. Casagrande G. & Viviani F. (Eds), Physical activity and Health: Physiological, Epidemiological and Behavioral Aspects. Padua, Unipress, 1998, pp.197-204.
 15. 須田力・石川高行・浅尾秀樹・三宅章介・布上恭子・パスユーコフ, P. N.・シドロフスカヤ, T. N.・シドロフスキー, G. Y. (1998) 北海道とサハリンにおける中高年女性の身体活動水準 発育発達研究 第26号: 53-58.
 16. シドロフスキー, G. Y.・シドロフスカヤ, T. N.・須田力・石川高行・所伸一, サハリン州住民の健康, 体育, スポーツ. 生涯学習研究年報, 第6号: 13-32, 1999年3月.
 17. 浅尾秀樹・須田力・石川高行・Shidlovsky, G. Y., Shidlovskaya, T. N. (1999) サハリン(ロシア)の高齢女性の身体活動について 北海道女子大学短期大学部紀要 第36号: 131-137.
 18. 須田力: 積雪期と無雪期の新聞配達運動強度, 発育発達研究, No.28: 1-5, 2000.
 19. 須田力・浅尾秀樹・菅原誠・鄭漢忠・布上恭子: 積雪地における高齢者のライフスタイル・体力及び口腔の健康に関する研究, 高齢者問題研究, No.16: 163-170, 2000.

20. 浅尾秀樹・須田力：ユジノ・サハリンスクの在宅高齢者の体力と ADL，北方圏生活福祉研究所年報，第 6 巻：103-108.
21. 増山尚美・白佐俊憲・浅尾秀樹・今野洋子・須田力・董勤廣・盛俊林・劉燕顛・黄麗敏・王大為（2000）中国黒龍江省と北海道における大学生の健康づくりのための運動実践に関する調査報告．北海道女子短期大学部研究紀要，第 38 号：81-96.
22. 浅尾秀樹・白佐俊憲・増山尚美・今野洋子・須田力・董勤廣・盛俊林・劉燕顛・黄麗敏・王大為（2000）ハルピン（中国）の施設高齢者の体力と健康．北海道女子短期大学部研究紀要，第 38 号：97-105.
23. 須田力：積雪期と無雪期の新聞配達の運動強度，発育発達研究，No.28：1-5，2000.
24. 須田力・浅尾秀樹・菅原誠・鄭漢忠・布上恭子：積雪地における高齢者のライフスタイル・体力及び口腔の健康に関する研究，高齢者問題研究，No.16：163-170，2000.
25. 浅尾秀樹・須田力（2000）ユジノ・サハリンスクの在宅高齢者の体力と ADL，北方圏生活福祉研究所年報，第 6 巻：103-108.
26. 森田勲・山口明彦・須田力（2002）ショベル除雪と筋力・筋パワーについて，雪氷，64 巻 6 号：631-639.
27. 須田力・浅尾秀樹・森田勲・福田公孝・楯戸健次郎・小路眞由美・五十公野修：積雪地における高齢者の自立生活に必要な体力の保持について．高齢者問題研究，20：57-73，2004 年 3 月.
28. Suda, T., Asao, H., Morita, I. (2004) Differences in the Relationships Between Physical Resources and Vital Functions of College Students and Elderly People Living Snowy Region. *Journal of Aging and Physical Activity*. Vol.12, No.3: 2004.
29. 須田力・浅尾秀樹・森田勲・五十公野修・小路眞由美（2005）豪雪地における高齢者のプロダクティビティと身体資質．北方圏生活福祉研究所年報，第 11 巻：61-76.
30. 森田勲・須田力（2005）高齢者の人力除雪で発揮される体力要素．雪氷，67 巻：233-243.
31. 森田勲（2005）豪雪地の高齢者に対する生活機能向上のための筋力トレーニングの効果．北海道大学大学院教育学研究科紀要第 97 号：27-39.
32. 須田力・河口明人・森田勲（2005）豪雪地住民の冬季の身体活動．北海道大学大学院教育学研究科紀要第 97 号：1-25.
33. 森田勲・山口明彦・吉成哲・林昌宏・須田力（2006）青少年男子のショベル除雪時の呼吸循環応答および作業成績．雪氷，68 巻，1 号：3-13.
34. Morita, I., Yamaguchi, A., Suda, T. (2006) Differences in cardio-respiratory responses to snow shoveling and shovel performance between elderly males and females. *Bulletin of Gerontological Research*, Vol.23: 41-49.
35. 森田勲・山口明彦・須田力（2006）豪雪地の女性高齢者における人力除雪作業の生理的応答，日本雪工学会誌，Vol.22，No.2：293-103.
36. 須田力・森田勲（2006）大学生の体力と社会的プロダクティビティ．北海道大学大学院教育学研究科紀要第 99 号：1-18（印刷中）.

(4) その他の刊行物

1. 須田力（1986）運動と喫煙．体育科教育：72-75.

2. 加藤満・川初清典・須田力・室木洋一・中川功哉 (1988) スキーの小回りパラレルターンにおける前頸骨筋及び長指伸筋の特有な働きについて. 第9回日本バイオメカニクス学会大会論集, '88: 132-137.
3. 須田力 (1994) 大学体育で教える体力. 体育の科学, 44(12): 1023-1026.
4. 須田力 (1995) 雪かき豆知識, 道新ポケットブック, いつでもどこでも健康体操, p.22-23, 北海道新聞社, 平成7年1月.
5. Suda, T., Nakagawa, K. (1995) Physiological Characteristics of the Exercise Exerted for Social Welfare. Proceedings FISU/CESU Conference. The 18th Universiade 1995 Fukuoka. Sport and Man: Creating a New Vision, The Organizing Committee for the Universiade 1995, Fukuoka: 270-271, 1995.
6. SUDA, T., Asao, H., Ishikawa, T., Pasyukov, P. N., Shidlovsky, G., Shidlovskaya, T. N. (1997) Lifestyles and Physical Activities of the Inhabitants Living in Snowy Regions. Physical activity levels of middle-age and elderly women in Hokkaido and Sakhalin. (Ed. Zubeck, H. et al) Proceedings of The Fifth International Symposium of Cold Region Development '97, pp.253-256.
7. 菅原誠・須田力・(1998) 高齢者のスポーツ経験と健康・体力の保持に関する研究: 石井清一編(平成10年度 北海道体育協会スポーツ科学委員会報告書, 18: 1-11.
8. 竹田憲司・須田力・成田寛司 (1998) 本道ランナーの冬季トレーニングに関する研究(1): 石井清一編(平成10年度 北海道体育協会スポーツ科学委員会報告書.
9. 浅尾秀樹・須田力 (1998) サハリン交流の成果と展望, 北方圏生活福祉研究所年報, 4: 23-27.
10. СУЛА Т.: БРАЗЖНИ ПОЖИЛЫХ ЛЮДЕЙ, ЗАНИМАЮЩИХСЯ ЛЫЖНЫМ СПОРТОМ НА ХОККАЙДО. ФИЗИЧЕСКАЯ КУЛЬТУРА И ЗДОРОВЬЕ НАСЕЛЕНИЯ ВОСТОКА РОССИИ, Южно—Сахалинск, p.91-92, 1996.
11. 須田力・竹田憲司・成田寛志 (1998) 本道ランナーの冬季トレーニングに関する研究(2) (石井清一編 平成10年度スポーツ科学委員会研究報告, 財団法人北海道体育協会), 平成11年3月.
12. 菅原誠・須田力・中野和彦 (1999) 中高齢者の運動経験と健康・体力の保持に関する研究(2) (石井清一編 平成10年度スポーツ科学委員会報告, 財団法人北海道体育協会), 平成11年3月.
13. 須田力 (1999) 冬の健康づくりと運動. Hoppoken, Vol.107, 32-37, 北方圏センター, 平成11年4月.
14. 須田力 (1999) 北大生のライフスタイルと体育・スポーツ活動, 平成11年8月.
15. 須田力・所伸一編 (2000), 北方圏体育・スポーツ研究報告書, 第1集 北海道・サハリン・中国東北部の地域スポーツ, 北大印刷, 2000年3月.
16. 須田力・菅原誠・青木喜満 (2000) 高齢者のスポーツ経験と健康・体力の保持に関する研究——身体活動度の異なる高齢者のライフスタイルと体力——, (北海道体育協会スポーツ科学委員会報告, 第20巻, 平成12年3月.
17. 須田力・浅尾秀樹・森田勲編 (2003) 雪国の高齢者のパワーアップガイド. 北方圏体育・スポーツ研究会, 北海道浅井学園大学発行, 平成15年3月.
18. Hideki Asao, Dong Qin Guang (2004) PHYSICAL ACTIVITY LEVEL OF TRADI-

- TIONAL EXERCISE OF THE ELDERLY IN HARBIN (NORTHEAST OF CHINA) (Eds. Suda, T., Asao, H., Moriya, K.: Physical activity, health promotion, and regional development in Northeast Eurasia), 32-34, Kyodo Bunkasha, Sapporo, 2003.
19. Tsutomu Suda, Hideki Asao, Isao Morita, Shidlovsky, G. Y., Shidlovskaya, T. N. and Pasyukov, P. N. (2004) PHYSICAL ACTIVITY and PRODUCTIVITY OF THE ELDERLY IN HOKKAIDO (JAPAN) AND SAKHALIN (RUSSIA) (Eds. Suda, T., Asao, H., Moriya, K.: Physical activity, health promotion, and regional development in Northeast Eurasia), 51-55, Kyodo Bunkasha, Sapporo, 2003.
18. Tsutomu Suda, Hideki Asao and Isao Morita (2004) PHYSICAL FITNESS, ACTIVITIES OF DAILY LIVING AND PRODUCTIVITY OF OLDER ADULTS LIVING IN SNOWY REGIONS. (Eds. Suda, T., Asao, H., Moriya, K.: Physical activity, health promotion, and regional development in Northeast Eurasia) 56-61, Kyodo Bunkasha, Sapporo, 2003.
19. Isao Morita, Akihiko Yamaguchi, Tsutomu Suda (2004) PHYSICAL FACTORS IN FEMALES RELATED TO SNOW SHOVELING POWER (Eds. Suda, T., Asao, H., Moriya, K.: Physical activity, health promotion, and regional development in Northeast Eurasia) 62-67, Kyodo Bunkasha, Sapporo.
20. Suda, T., Asao, H., Morita, I. (2004) Differences in the Relationship Between Physical Resources and Vital Functions of College Students and Elderly People Living in Snowy Region. (Eds. Jones, G. R., Taylor, A. W., Ecclestone, N. A.: Scientific Proceedings from International Society for Aging and Physical Activity 6th World Congress on Aging and Physical Activity: Research to Action for an Aging Society, 82-86, Canadian Centre for Activity and Aging, London, Ontario.
21. 須田力・佐久間一郎・土橋和文・佐美靖・浅尾秀樹・森田勲・岡田晃・今井忠則・加納修 (2005) 士別市中高年者の積雪期の在宅トレーニングによる体力向上の効果. 平成 16 年度北海道体育協会スポーツ科学委員会研究報告, 第 25 巻: 11-18.
22. Suda T., Morita I. et al. (2004) Characteristics in Cardio-respiratory Responses to Simulated-snow Shoveling Task. Proceedings of the 7th International Symposium on Cold Regions.

(5) 学会報告 (登壇のみ)

1. 須田力 (1971) 喫煙と唾液中 CSN 量について. 昭和 46 年度北海道体育学会.
2. 須田力・中川功哉・伊藤義雄・渡辺実 (1976) 保健体育における実験教材に関する研究 — C-MOSIC による簡易フリッカーの試作と応用. 昭和 51 年度北海道体育学会.
3. 須田力・中川功哉・伊藤義雄・渡辺実 (1977) 保健体育における実験教材に関する研究. 運動時の HR の観察について. 昭和 52 年度北海道体育学会.
4. 須田力・中川功哉・吉田敏雄 (1978) 喫煙習慣と踏み台昇降運動成績について. 日本体育学会第 29 回大会, 昭和 53 年 12 月, 高知.
5. 須田力・中川功哉 (1978) 喫煙習慣と持久性 performance について. 昭和 53 年度北海道体育学会.

6. 須田力・吉田敏雄・中川功哉・見戸長治（1979）喫煙習慣と1500 m 持久走成績について。日本体育学会第30回大会，昭和54年10月，金沢。
7. 須田力・奈良岡健三・中川功哉・西菌秀嗣・蔵満保幸（1979）Quad オペアンプとポケット電卓を用いた積算心拍数計について，昭和54年度北海道体育学会。
8. 須田力・中川功哉・蔵満保幸・野口和昭（1980）日本体育学会第31回大会，昭和55年，10月，東京。
9. 須田力（1980）高校から大学にかけての体力の停滞・低下について，昭和55年度北海道体育学会。
10. 須田力・室木洋一・安藤義宣・吉田敏雄・中川功哉・西菌秀嗣（1981）マイクロコンピュータによる学生の体力診断テストシステムについて，昭和56年度北海道体育学会。
11. 須田力・中川功哉・安藤義宣・西菌秀嗣・室木洋一（1982）高校生のバイクに関する一考察，日本体育学会第33回大会，昭和57年10月，東京。
12. 須田力・西菌秀嗣・中川功哉・安藤義宣・室木洋一（1982）ワンボードマイコンの体育測定への応用の試み，昭和57年度北海道体育学会。
13. 須田力・中川功哉・西菌秀嗣・安藤義宣・室木洋一（1983）北海道出身北大生の持久性不足について，日本体育学会第34回大会，昭和58年8月，札幌。
14. 須田力（1983）北海道出身北大生の持久性不足について，昭和58年度北海道体育学会特別シンポジウム。
15. 須田力・室木洋一・安藤義宣・中川功哉・西菌秀嗣・吉田敏雄（1984）大学入学後31～33年後の体力の年齢的变化について，日本体育学会第35回大会，昭和59年10月，鹿児島。
16. 須田力・中川功哉・西菌秀嗣・見戸長治・長谷川久子・佐々木敏・蔵満保幸（1984）手力除雪作業成績と体力，昭和59年度北海道体育学会，昭和59年12月，北海道教育大学釧路校。
17. 須田力・室木洋一・中川功哉・西菌秀嗣・見戸長治・岡野五郎・加藤満（1985）札幌国際スキーマラソン10 km,20 km 完走一般中高年齢者の持久性およびトレーニング程度について，日本体育学会第36回大会，昭和60年10月，岐阜。
18. 須田力・三宅章介・加藤満・佐々木敏・岡野五郎（1986）手力除雪作業の体力学的研究——青年男子のショベル作業成績と作業時の生理学的応答について——，日本体育学会第37回大会，昭和61年11月，筑波。
19. 須田力（1986）手力除雪作業時の生理学的応答——最大努力によるショベル作業について——，昭和61年度北海道体育学会研究大会，昭和61年10月，岩見沢。
20. 須田力・三宅章介・加藤満・佐々木敏（1987）高齢者の除雪作業について，日本体育学会第38回大会，昭和62年9月，京都。
21. 須田力・三宅章介・加藤満・佐々木敏・川初清典（1988）ショベルのテンポと一回当たりの重量による生理学的応答の差について，日本体育学会第39回大会，昭和63年10月，福島。
22. 須田力・川初清典・佐々木敏・三宅章介・加藤満（1989）歩くスキーのトレーニングによる滑走速度，代謝の変化，第44回日本体力医学会大会，平成元年9月，札幌。
23. 須田力・穆子彦・室木洋一（1989）中国の大学生の生活における身体活動，日本体育学会第40回大会，平成元年10月，横浜。
24. 須田力・三宅章介・佐々木敏・晴山紫恵子（1989）歩くスキーの滑走速度・ピッチ・スト

- ライド・作業強度について、平成元年度北海道体育学会研究大会、平成元年12月、札幌。
25. 須田力・川初清典・佐々木敏・角田和彦・晴山紫恵子・三宅章介(1990) ラングラウフスキーの滑走特性と作業強度——ノーワックスタイプのスキーによるダイアゴナル平地滑走について——。日本体育学会第41回大会、平成2年10月、岡山。
 26. 須田力(1990) ポケットコンピューターの体育指導への応用。平成2年度北海道体育学会研究大会、平成2年12月。北見。須田力・中川功哉・三宅章介・佐々木敏(1991) 高齢者の除雪作業の生理学的応答。第46回日本体力医学会大会。平成3年10月、金沢。
 27. 須田力・中川功哉(1991) 高齢者の人力除雪作業における血圧応答。日本体育学会第42回大会、平成3年10月、富山。
 28. 須田力・中川功哉・三宅章介・佐々木敏(1991) 高齢者の除雪作業における血圧応答。平成3年度北海道体育学会研究大会、平成3年12月、札幌。
 29. 須田力・中川功哉・三宅章介・佐々木敏(1992) 積雪地における高齢者の生活と身体活動——除雪作業と歩行の生理学的応答の比較から——。日本体育学会第43回大会、平成4年12月、東京。
 30. 須田力(1992) ポケットコンピューターの体育学習への応用——運動学習・トレーニングへの利用例——。平成4年度北海道体育学会研究大会。平成4年11月、室蘭。
 31. 須田力・中川功哉(1993) 積雪地における高齢者の生活で発揮される体力について——積雪期と非積雪期の身体活動量——。第48回日本体力医学会大会、平成5年9月、徳島。
 32. 須田力・中川功哉・佐々木敏(1993) 積雪地における高齢者の生活で発揮される体力について——積雪期と非積雪期の歩行の作業強度——。日本体育学会第44回大会、平成5年11月、大阪。
 33. 須田力(1993) 大学体育で教える体力とは？ 大学体育連合北海道地区研修会、平成5年12月。
 34. 須田力・中川功哉(1994) 積雪地の高齢者の生活における身体活動水準——活動的なライフスタイルの高齢者について——。日本体育学会第45回大会、平成6年10月、山形。
 35. 須田力・中川功哉(1994) 積雪地の高齢者のライフスタイルと身体活動。平成6年度北海道体育学会、平成6年11月26-27日、小樽商科大学。
 36. 須田力・中川功哉(1995) 雪上路面のランニングの強度。第50回日本体力医学会、体力科学、Vol.44, No.6: 741。
 37. 須田力・中川功哉(1995) 介護作業で発揮される体力に関する研究——ヒトの背負い歩行の生理的応答の特徴——。日本体育学会第46回大会、平成9年10月、群馬。
 38. 須田力・浅尾秀樹・シドロフスキー、G. Y., シドロフスカヤ、T. N., パスユーコフ、P. N. (1995) ユジノサハリンスク市の大学生の体力。平成9年11月、札幌。
 39. 須田力・秋田谷英次・片桐千仞、田中英治・原文宏(1995) 雪中キャンプ時の生理的応答。寒地技術シンポジウム、1995年11月8-10、札幌市教育文化会館。
 40. 須田力・浦上大輔・角田和彦・中川功哉(1996) 積雪路面における歩行・ランニングの運動距離、ピッチ、ストライド。日本体育学会第47回大会、1996年9月、千葉大学。
 41. Suda, T., Asao, H., Ishikawa, T., Pasyukov, P. N., Shidlovsky, G., Shidlovskaya, T. N. (1997) Lifestyles and Physical Activities of the Inhabitants Living in Snowy Regions. Fifth International Symposium of Cold Region Development Anchorage, May.

42. 須田力・中川功哉・角田和彦・三宅章介 (1997) 高齢クロスカントリースキーヤーのライフスタイル. 第 52 回日本体力医学会大会, 平成 9 年 9 月, 大阪.
43. 須田力・浦上大輔・宮島成江・森谷梨・福地保馬 (1997) 積雪地における勤労者の生活と運動. 日本体育学会第 48 回大会, 平成 9 年 10 月, 新潟.
44. 須田力・石川高行・浅尾秀樹・シドロフスキー・シドロフスカヤ・パスユーコフ (1997) ユジノサハリンスク市の大学生の体力. 平成 9 年度北海道体育学会, 平成 9 年 11 月, 札幌.
45. 須田力・角田和彦・三宅章介・片寄正樹・武田秀勝 (1998) 積雪地の高齢者が自立して生きるために必要な体力. 平成 10 年度日本体育学会測定評価分科会例会, 7 月 26 日, 江別.
46. 須田力 (1998) 総合大学の特性を生かした大学体育改善の試み — 大学体育の評価に関わって — 第 48 回東北・北海道地区大学一般教育研究会. 平成 10 年 9 月, 北星学園大学.
47. 須田力・浅尾秀樹・シドロフスキー, G. Y.・シドロフスカヤ, T. N. (1998) ロシア連邦ユジノサハリンスク市の大学生のライフスタイルと体力, 日本体育学会第 49 回大会, 平成 10 年 10 月, 松山市.
48. 須田力・菅原誠 (1998), 高齢者の運動経験とライフスタイル, 平成 10 年度北海道体育学会シンポジウム, 平成 10 年 11 月, 岩見沢.
49. 須田力・浅尾秀樹 (1999) 旧産炭地における高齢者のライフスタイルと体力, 日本体育学会第 50 回大会, 平成 11 年 10 月, 東京大学.
50. 須田力 (1999) 積雪期における新聞配達運動強度, 日本体育学会第 50 回大会, 平成 11 年 10 月, 東京大学.
51. 須田力・菅原誠 (1999) 高齢者の運動経験とライフスタイル, 平成 11 年度北海道体育学会シンポジウム. 平成 11 年 11 月, 札幌.
52. Suda, T., Asao, H., Ishikawa, T. Shidlovsky, G. Y., Shidlovskaya, T. N. and Pasyukov, P. N. (1999) Role of Higher Education for the health Promotion of The Residents in Cold Regions. Asia-Pacific Region and Russian Far East at the beginning of the 21th century, Yuzhno-Sakhalinsk, Sept.
53. 須田力・浅尾秀樹 (2000) サハリンと北海道における高齢者のライフスタイルと身体活動, 日本体育学会第 51 回大会, 平成 12 年 10 月, 奈良.
54. 須田力・角田和彦・片寄正樹・武田秀勝 (2000) 積雪路面における車椅子介助の運動強度. 平成 12 年度北海道体育学会, 2000 年 11 月. 滝川.
55. 須田力・林満章・秋野禎見 (2001) 剣道高齢者のライフスタイルと身体活動. 第 13 回北海道スポーツ医科学研究会, 2001 年 4 月.
56. 須田力・林満章・秋野禎見 (2001) 剣道高齢者のライフスタイルと身体活動. 第 13 回北海道スポーツ医科学研究会, 2001 年 4 月.
57. Suda, T., Asao, H., Shidlovsky, G. Y., Shidlovskaya, T. N. Pasyukov, P. N.: Lifestyle and Physical Activities of Elderly Male Cross-country Skiers in Hokkaido (Japan) and Sakhalin (Russia). 6th Annual Congress of the European College of Sport Science, Cologne, 24-28, July, 2001.
58. 須田力・浅尾秀樹・シドロフスキー, G. Y.・シドロフスカヤ, T. N. (2001) ロシア連邦サハリン州における高年齢クロスカントリースキーヤーのライフスタイル. 日本体育学会第 52 回大会, 2001 年 9 月, 札幌.

59. 須田力・浅尾秀樹・森田勲 (2002) プロダクティビティの高い高齢者のライフスタイルと身体活動, 日本体育学会第 53 回大会, 平成 14 年 10 月, 埼玉大学.
60. 須田力・浅尾秀樹・林満章・秋野禎見・森田勲 (2002) 剣道愛好高齢者のライフスタイルと体力, 平成 14 年度北海道体育学会研究大会, 平成 14 年 12 月, 札幌.
61. Suda, T., Asao, H., Morita, I., Shidlovsky, G., Shidlovskaya, T., and Pasyukov, P. (2002) Physical Activity and Productivity of the Elderly in Hokkaido (Japan) and Sakhalin (Russia) International Council on Health, Physical Education and Sports in Northeast Eurasia, August 22, 2002, Sapporo.
62. Suda, T., Asao, H., and Morita, I. (2002) Physical Fitness, Activities of Daily Living, and Productivity of Older Adults, International Council on Health, Physical Education and Sports in Northeast Eurasia, August 22, 2002, Sapporo.
63. Suda, T., Asao, H., Morita, I., Shidlovsky, G. Y., Dong, Q. G. (2003) Lifestyle and Physical activity of older adults in Northeast Asia. 8th Annual Congress of the European College of Sport Science. 9-12, July, 2003, Salzburg.
64. 須田力・浅尾秀樹・森田勲 (2003) 豪雪地における高齢者の身体資質とプロダクティビティ. 日本体育学会第 54 回大会, 平成 15 年 9 月, 熊本.
65. Suda, T., Asao, H., Morita, I. (2004) Differences in the Relationships between Physical Resources and Vital Functions of College Students and Elderly People Living in Snowy Region. 6th World Congress on Aging and Physical Activity. August 3-6, 2004, London, Ontario, Canada.
66. Suda T., Morita I. Et al. (2004) Characteristics in Cardio-respiratory Responses to Simulated-snow Shoveling Task. The 7th International Symposium on Cold region Development. September 13-17, 2004, Sapporo, Japan.
67. 須田力・森田勲 (2005) 豪雪地住民の冬季の身体活動. 日本体育学会第 56 回大会, 2005 年 11 月, 筑波大学.
68. 須田力・森田勲 (2004) 豪雪地住民の生活機能保持のための簡易トレーニング用具. 平成 16 年度北海道体育学会, 2004 年 12 月, 札幌.
69. 須田力・森田勲・吉成哲・林昌弘 (2005) 大学生と高齢者のショベル除雪における生理的応答と作業成績. 平成 17 年度北海道体育学会. 2005 年 12 月, 釧路.
70. 須田力・森田勲・加藤満 (2006) 大学生の体力と社会的プロダクティビティ. 日本発育発達学会第 4 回大会, 2006 年 3 月, 釧路.

(6) 講演・シンポジウム

1. 須田力 (1988) 体力テストの意義と活用. 第 27 回全国大学保健管理研究集会, シンポジウム I 「健康管理における諸問題の検討と提言」平成元年 10 月, 北海道大学.
2. 須田力 (1995) 高齢者のライフスタイルと運動. 平成 9 年度北海道体育学会シンポジウム, 「高齢者の運動」平成 9 年 11 月, 札幌.
3. 須田力 (1998) 高齢者の運動経験とライフスタイル. 平成 10 年度北海道体育学会研究大会ミニシンポジウム「高齢者の運動」平成 10 年 11 月, 岩見沢.
4. 須田力 (1999) 積雪地の高齢者の身体活動と体力. 日本体育学会北海道支部講演・シンポ

- ジウム「高齢者の運動と健康」. 1999年12月, 北海道大学.
5. 須田力 (2001) ライフスタイルと体育. 第38回北海道高等学校教育研究大会. 保健体育部会講演, 平成13年1月, 札幌.
 6. 須田力 (2002) 冬期の屋外活動の必要性. 国土交通省北海道開発局主催「北国の冬の公園を考えるフォーラム」平成14年11月, 札幌, パネリストとして参加.
 7. 須田力 (2002) 雪を生かした冬季体育. 日本雪氷学会北海道支部地域講演会, 平成14年11月, 沼田町, パネリストとして参加.
 8. 須田力 (2002) 雪を生かした冬季体育. 平成14年度日本雪氷学会北海道支部地域講演会, 沼田町生涯学習センター, 2002年11月.
 9. 須田力 (2003) 積雪地住民の体力と身体活動. 第21回東北本理学療法士学会特別講演: 2003年11月, 山形市.

3. 主な所属学会

European College of Sport Science, 日本体育学会, 日本体力医学会, 日本雪氷学会, 日本生理人類学会, 日本運動生理学会, 日本雪工学会, 北海道体育学会

4. 外部資金による研究 (研究代表者のみ)

1. 平成元年度科学研究費補助金・一般研究(C)ラングラウフスキーの実験的研究 — 動作解析, 代謝およびトレーニング — 課題番号 63580082.
2. 平成4・5年度科学研究費補助金・一般研究(C)積雪地における高齢者の生活で発揮される体力に関する研究, 課題番号 04680108.
3. 平成6・7年度科学研究費補助金・一般研究(C)積雪地における冬季の歩行・ランニングの強度と代謝特徴, 課題番号 06680078.
4. 平成8~10年度科学研究費補助金 (国際学術研究・大学間協力研究) 北方圏地域における住民のライフスタイルと身体活動, 課題番号 08045009.
5. 平成13~15年度科学研究費補助金・基盤研究(B)(2)高齢者のプロダクティブ・エイジングで発揮される身体資質に関する国際研究, 課題番号 13572035.
6. 平成16・17年度科学研究費補助金・基盤研究(B)豪雪地住民の生活機能向上のための在宅トレーニングプランの開発と効果に関する研究. 課題番号 16300217.